

最適なシステムの選び方

設置者の目的・希望、設置場所の条件も、メーカーやシステムの特徴もイロイロ。「我が家に“最適”」なシステムを選ぶことが大切です。



設置者の目的・希望、設置場所の条件

- 設置目的：環境貢献、経済メリット、非常時対応等
- 設置環境：気候条件、日射条件等
- 屋根の条件：広さ、形状、方位、傾き、影の有無、屋根裏構造、屋根材種類等
- 予算金額
- デザインの好み 等

メーカーやシステムの特徴

- 太陽電池の種類：シリコン系（結晶、薄膜）、化合物系等
- モジュールの大きさ、重さ、形状、色・デザイン、最大出力
- モジュール、パワーコンディショナの変換効率
- HEMS、蓄電池の有無
- 価格
- アフターメンテナンス、保証制度 等



「我が家に“最適”」なシステム

太陽光発電システムの設置においては、一般的な家電製品などの購入と異なり工事が伴うことから、現地調査が大変重要です。また、同じメーカーのシステムでも、販売業者によって価格やサービス内容が異なることがあります。

だから… 目的や希望、条件をしっかりと聴き、きちんと現地調査を行ってくれる複数の販売業者に見積りを依頼しましょう。

信頼できる販売・施工業者の選び方

販売業者は「我が家に“最適”」なシステムを選ぶパートナー。信頼できる相手を選ぶポイントをあげてみました。参考にしてください。



チェック項目 チェック

一方的な説明でなく、こちらの要望や条件を聞こうとしているか?	
設置目的を理解し、「我が家に“最適”」を提案しようとしているか?	
メリットだけでなくデメリットも説明してくれるか?	
現地調査をしっかりとってくれるか?	
制度や補助金等の最新情報を理解し、わかりやすく説明してくれるか?	
経済産業局や電力会社との手続きについて詳しく説明してくれるか?	
有償/無償の保証制度について説明してくれるか?	
落雪事故や反射光問題への対応についても説明してくれるか?	
保守点検及び廃棄の際の取り扱いについて説明してくれるか?	
見積りは“一式”でなく、内訳（機器・工事内容毎）が記載されているか?	
見積書には日付、会社名、担当者名が記載され、捺印がされているか?	
現地調査を実施した上で作成した設計図面（配置図、配線図）が添付されているか?	
経済性シミュレーション資料が提出されているか?	
契約書・保証書を見せながら説明してくれるか?	
割賦販売の内容について説明してくれるか?	
クーリング・オフ制度の説明をしてくれるか?	
契約をしつこく迫ったり、急がせたりしていないか?	
メーカー認定の「施工ID」を取得しているか?	
具体的な施工方法や施工上の懸念点の有無についても説明できるか?	
工事の際のトラブルに対応する保険に加入しているか?	
雨漏り等の設置後のトラブルに対応する保証制度があるか?	

販売業者/商談時

販売業者/見積り・契約時

施工業者

トラブルの避け方

甘い言葉には十分に注意を！ しつこいセールスや強引な勧誘はキッパリ拒否！

今日だけの特別価格！ 今契約しないと損しますよ！

必ず●●●kWh 発電します！

今お支払いの電気代で ローンは必ず払えます！

こんなに説明したのに 契約してくれないと 困ります！



モニター制度を利用できる あなただけの特別価格！

売電で 毎月●万円が 確実に入ります！

メンテナンスフリーで 半永久的に 使えます！

今日は契約頂くまで 帰れません！

必ず複数の販売業者から見積りをもらう！

ちょっと待って！ もう一社から見積りをもらうから！

正しい判断をするためにも、複数の販売業者に見積りを依頼することをお勧めします。他社より極端に安い見積りには、“落とし穴”があるかもしれません。

口約束でなく、必ず書面で確認し保管する！

じゃあ、いまの内容を書面にして いただけますか？

約束事項や説明された内容は必ず書面で残しましょう。クーリング・オフ制度を利用する際にも、領収書や契約書があれば安心です。

こんなトラブルも！

反射光問題 ご自宅の屋根に取り付けた太陽電池モジュールからの反射光が眩しいというクレームが、近隣住宅から寄せられることがあります。思わぬトラブルを避けるためには、事前の確認が大切です。

落雪事故 太陽電池モジュールに積もった雪は滑り落ちやすくなっています。落雪により周囲の器物や人身に損傷を与える恐れがある場合は、雪止めの処置等の適切な対策が必要になります。

